

年間指導計画表

教科・科目	地歴科・地理B	単位数	4単位
		学科・学年・学級	普通科・2年・文系クラス

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	①教科書：帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地図』 ②資料集：東京法令出版『新編地理資料 2018』

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出	20%
b. 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	10%
c. 技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・課題提出 ・ノート提出	10%
d. 知識・理解	現代世界の地理的な象から課題を見いだす諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	60%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	40	《さまざまな地図と地理的 技能》 【地理情報と地図】 ●地図の発達 ●地図の種類とその利用 ●地理情報の地図化 【地図の活用と地域調査】 ●地図の活用 ●身近な地域の調査	○地球が球体であるため、面積・形・距離・方位が全て正しい地図はありえないことを理解する。 ○世界地図各々の特徴を理解する。特にメルカトル図法と正距方位図法の特徴には注意する。 ○統計地図の種類と特徴を理解し、用途に適した地図をできるようにする。 ○地形図に関する基本的な知識を学習し、地図の利用について、理解を深める。	○	○		○
	5		○地域調査に対する関心と課題意識を高め、調査した内容を図表などにまとめたりする。 ○人間の生活の場である地形は46億年にわたる地球史の産物であり、変化と多様性に富んでいることを理解する。 ○内的営力による地形の成因と人間生活の関わりについて考える。また、外的営力による様々な地形の成因別特徴と形成プロセスを学習する。	○		○	○	
	6		《現代世界の系統地理的 考察》 【自然環境】 ●世界の地形 ●世界の気候 〈第1回考査〉 ●日本の自然の特徴と 人々の生活	○気候環境を構成している気候要素について理解する。 ○気候区分類の理解を通じて、目に見えない大気現象と人間生活への影響を把握する。気候を総合的に捉えることにより、環境としての植生や土壌の理解を深める。 ○日本の自然環境を学習し、私たちの生活との関連を考える。 ○日本各地で起こりうる災害を予測するとともに減災について考察し、災害時に適切な行動が出来る。	○	○	○	○



学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期 / 後期	7	32	【資源と産業】 ●世界の農林水産業 ●食糧問題	○地域によって異なる農業・林業・水産業が成立していることに気づき、自然環境や社会環境の中で、私たちの生活とどのような関わりがあるのか理解する。 ○世界経済の発展に伴い農業形態の地域文化が進んだことを理解する。 ○各農業地域が抱えている問題点について考える。 ○食料生産が不安定な地域や食料を輸入にたよる国の問題について考える。	○	○	○	○
	8				○	○	○	○
	9				○	○	○	○
	10	28	●世界のエネルギー・鉱産資源 ●資源・エネルギー問題 ●地球環境問題 〈第2回考査〉 ●世界の工業 ●世界を結ぶ交通通信	○世界の主なエネルギー・鉱産資源の特徴を理解する ○エネルギー・鉱産資源の生産と流通から生じる南北間の経済格差を理解し、その解決策を見出す。 ○熱帯林の破壊や地球の温暖化などを地球規模の環境問題について考える。	○	○	○	○
					○	○	○	○
					○	○	○	○
11	○	○	○	○				
12	○	○	○	○				
後期	1	40	●都市・居住問題	○先進国の都市問題の課題と都市の再生、発展途上国の都市問題の原因と課題について考察する。	○		○	
	2	《生活文化、民族・宗教》 ●世界の衣食住 ●民族と宗教 ●現代世界の国家 ●民族・領土問題 〈第4回考査〉	○世界の生活文化、民族・宗教に対する関心と課題意識を持ち、それを意欲的に追求し捉えようとする。またその分布や民族と国家の関係などを考察し、適切に表現できる。 ○国家の三要素や領海・排他的経済水域などについて理解する。 ○民族・領土問題を大観させ、その過程や結果を適切に表現する。	○	○			
	3			○		○		